



食物アレルギーの新常識

～その奇想天外な原因～

食物アレルギーの研究が進んできた。乳幼児期以降に、皮膚や粘膜、気道などで感作が成立して発症する場合は、食物以外が原因となることが多く、その原因物質は花粉やペット、化粧品など多岐にわたる。食物アレルギーに正しく介入するため、食物以外の原因を知っておきたい。

では表示が求められているが、使用制限はない。患者の報告数は年間数例にとどまるものの、診断に至っていない潜在患者の存在が危惧されている。

食物アレルギーの原因として多いのは、鶏卵、牛乳、小麦で、小児患者が多い。一方、「成人では、食物以外が原因となるケースが少なくない。感作抗原が分からないと、正しい介入は難しいので、食物以外が原因となり得ることを知ってほしい」。こう強調するのは、国立病院機構相模原病院臨床研究センター長の海老澤元宏氏だ^A。

食物アレルギーでは、炎症が生じている皮膚や気道、腸管での感作が原因となる。「炎症のある場所から抗原が生体に吸収されるとIgE抗体が誘導されやすくなる」（国立成育医療研究センターアレルギーセンター長の大矢幸弘氏）ためだ。ただし、感作がアレルギーに直結するわけではなく、免疫寛容が誘導されれば、発症しないことも覚えておきたい^B。

鮮やかな赤色に潜む罠 口紅で食物アレルギーに

「女性が原因不明のアナフィラキシーや蕁麻疹で受診した際は、『赤色の食品』の摂取歴も確認してほしい」と要望するのは藤田医科大学ばんだね病院総合アレルギー科教授の矢上晶子氏だ。口紅やアイシャドーなどの化粧品に含まれる赤色色素に感作されて食物アレルギーを発症するケースが存在するためだ。『茶のしずく石鹸』による小麦アレルギーと同様、経皮感作で発症する。化粧品中の赤色色素（コチニール色素、カルミン、カルミン酸）が原因で、同じ色素で着色された食品の摂取で重篤なアレルギー症状を呈することがある。

現在、化粧品や医薬部外品、医薬品

ラテックスアレルギーだと バナナが食べられない!?

天然ゴムラテックスを使用した手袋によるアレルギー（ラテックスアレルギー）は、手袋の使用頻度の高い医療者の中では有名だ。そのラテックスアレルギーの患者が発症することがあるのがラテックス-フルーツ症候群だ。ラテックスアレルギーの患者の30～50%にラテックス-フルーツ症候群が認められ、バナナやアボカド、キウイフルーツなどの果物アレルギー患者の約11%にラテックスアレルギーがあると推計されている。

ラテックス-フルーツ症候群は、ラテックス抗原と交差抗原性を有する果物の経口摂取で即時型のアレルギー症状を生じる。交差反応性を示しやすい食物としては、アボカド、クリ、バナナ、キウイフルーツなどが知られている（表1）。ラテックス-フルーツ症候群では、原因食物を避けるだけでなく、感作源となる天然ゴム製品との接触を避ける指導が必要になる。

同じ果物に対するアレルギー反応でも、花粉抗原に感作して生じる場合もある。花粉-食物アレルギー症候群

表1 ラテックスとの交差反応性を示しやすい食物
（出典：『食物アレルギー診療ガイドライン2021』）

ハイリスク群	アボカド、クリ、バナナ、キウイフルーツ
その他	リンゴ、ニンジン、セロリ、メロン、ジャガイモ、トマト、イチジク、パパイヤ、マンゴ、パイナップル、モモなど



A



574473

B



574485

C



574690

(PFAS)は北海道を中心に分布するシラカンバの花粉による感作を受け、リンゴやモモ、大豆などに対する食物アレルギーを生じるケースが有名だが、海老澤氏は「本州に広く植えられているハンノキの花粉でも生じる」と指摘する。ハンノキはスギやヒノキと同時期に花粉が飛散するので、患者本人はスギの花粉症と思いついでいるケースも多いとのこと。

2021年の出生コホート調査では、13歳児の有病率が11.7%で、原因食物としてはキウイフルーツやパイナップルが多かったが、それら以外にも様々な食物との交差反応性が明らかになっている(表2)。

ペットやマダニ咬傷が原因で 獣肉アレルギーに

「ある時から、豚肉や牛肉を食べると蕁麻疹が出るようになった」。こんな患者の訴えを聞いたことはないだろうか。そんな患者には、ネコの飼育歴や野山での活動歴も問診したい。

ネコアレルギー患者の1~3%に、pork-cat症候群が見られるといわれている。pork-cat症候群とは、ネコの毛や体液などに含まれる血清アルブミンに経気道的に感作して発症する即時型アレルギーだ。生物学的近縁種の動物の肉や組織に含まれるアルブミンで交差反応が生じ、豚肉や牛肉の摂取で症状を来す。ただし、アルブミンは熱に弱いため、十分に加熱した場合は症状が出ないこともある。

原因物質の摂取を避けることに加え、感作源となったネコなどの動物への曝露を極力避けるよう指導したい。

表2 花粉-食物アレルギー症候群に関する花粉と植物性食品
(『食物アレルギー診療ガイドライン2021』を一部改変)

花粉		交差反応が報告されている主な食物
科	種	
カバノキ科	ハンノキ	リンゴ、モモ、サクランボ、ナシ、アンズ、アーモンド、大豆、ピーナッツ、緑豆もやし、キウイフルーツ、ヘーゼルナッツなど
	オオバヤシャブシ	
	シラカンバ	
ヒノキ科	スギ	トマト
イネ科	オオアワガエリ	メロン、スイカ、トマト、キウイフルーツ、オレンジ、ピーナッツなど
	カモガヤ	
キク科	ブタクサ	メロン、スイカ、トマト、ズッキーニ、キュウリ、バナナなど
	ヨモギ	セロリ、ニンジン、クミン、コリアンダー、フェネル、マンゴーなど

ペットの飼育歴が皆無という場合には、マダニ咬傷による経皮感作が原因となる獣肉アレルギーも疑いたい。マダニの唾液に含まれる糖鎖に感作されて発症する。マダニは田畑や公園などにも生息しており、咬まれても気付かないことが多い。マダニによる獣肉アレルギーでは、摂取後2~6時間経過してから蕁麻疹やアナフィラキシーなどの遅発性アレルギー症状が生じる。ウシやブタ、ヒツジ、ウマ、シカなどの肉の摂取で主に発症する。

大人になってから卵アレルギー では鳥飼育の確認を

ペットに由来する食物アレルギーとしては、鳥愛好者における鶏卵アレルギーも覚えておきたい。成人してから発症した卵アレルギーの原因として知られるbird-egg症候群だ。飼育している鳥の羽毛や糞などに経気道感作して発症する。小児期の鶏卵アレルギーが卵白で生じやすいのとは対照的で、bird-egg症候群は、特に卵黄

に反応しやすいという特徴を持つ。

納豆摂取後のアナフィラキシー 原因はクラゲ!?

マリンスポーツを好む住民が多い地域で患者が多いのが、クラゲなどの刺胞動物の刺傷で感作が成立する納豆アレルギーだ。粘稠成分のポリガンマグルタミン酸(PGA)を主要抗原とし、多くは遅発性アレルギー症状を呈する。PGAは納豆の発酵過程で初めて産生されるため、納豆以外の大豆製品にはアレルギー反応を呈さないのも特徴だ。

意識消失を伴うアナフィラキシーショックを生じやすい。夜間や早朝に原因不明のアナフィラキシーを生じ救急外来を受診した患者には、半日前までさかのぼって納豆摂取の有無を確認したい📍。(小板橋 律子)

本文の表記・内容などは2022年4月時点の情報に基づきます。私的使用など著作権上の例外を除き、本PDFの複製、印刷、配布等を禁じます。

©Nikkei Business Publications, Inc.
All Rights Reserved.